



2008年11月23日
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

党首会談

小沢代表、第2次補正予算案の早期提出を求める



小沢一郎代表は17日夜、官邸で麻生首相と党首会談を行い、2008年度第2次補正予算案の取扱いをめぐって協議しました。

会談で小沢代表は、追加の経済対策の裏づけとなる今国会での第2次補正予算案の提出を主張。これに対して麻生首相は最大限の努力はすると回答するにとどまりました。これを受けて党幹部で協議、翌18日の参院外交防衛委員会での新テロ対策特別措置法改正案の審議は行われなことが決定しました。

会談後に小沢代表は記者の質問に答え、冒頭に麻生首相に対し、選挙を経ずに3人の総理大臣が誕生したことについて、民主主義のルールから考えておかしいと指摘。内閣が変わったときは総選挙で国民の信を問うべきで、国民の支持を背景にした内閣でなければ思い切った政策を実行できないと主張したと明かしました。

そのうえで、麻生首相が就任当初は解散・総選挙を決意しながら金融危機を前に「選挙より経済、景気対策」と路線を変更、総選挙を先送りしたにもかかわらず、現実には景気対策の裏づけとなる第2次補正予算案の提出がない点について、当初の首相の論理から言えば筋道がおかしいと矛盾を批判。迅速に対応すべきと主張し、早期の提出を求めたと説明しました。

暴力を決して認めてはならない

元厚生次官宅連続襲撃事件を受け代表、幹事長

鳩山由紀夫幹事長は19日午前、元厚生事務次官らの殺傷事件について語りました。

「民主党というより国民としてテロ、暴力を決して認めてはならない」として断固として戦う意思を表明。推測されるような厚生行政に絡む事件と認められた場合、民主党としては「民主主義国家であり、政策の問題に関しては議論を通じてこの国を法治国家として導いていく責任がある」との立場から、メッセージを発信する必要があると示唆しました。ただ、推測の域を超えていない現段階においては、捜査の推移を見守る姿勢を強調しました。

小沢一郎代表も同日午後の会見で、「大変驚いている。いかなる理由があっても暴力で人を殺傷することは許されることではない」との考えを示しました。

次期衆院選の第2次公認候補11名を追加決定



小沢一郎代表は19日夕、党本部で会見し、次期衆議院総選挙の第2次公認候補として追加決定された候補者を発表。公認234名、公認内定26名、推薦22名とあわせた累計人数は、282名となりました。

追加決定した公認候補は以下の通り。青森4区・津島恭一、茨城2区・石津政雄、栃木1区・石森久嗣、長野4区・矢崎公二、岐阜1区・柴橋正直、愛知6区・石田芳弘、京都1区・平智之、大阪17区・辻恵、和歌山3区・玉置公良、鳥取1区・奥田保明、熊本3区・後藤英友。